

(様式1)

令和7年(2025年)1月30日

開かれた里山の整備・利用(変更)計画書

長野地域振興局長 様

里山整備利用推進協議会の名称

一重山みらい会議

住 所

千曲市桜堂521

代表者 氏名

青木信知

1. 里山整備利用地域の名称等

名 称	千曲市一重山	
認定年月日	令和4年4月20日	
認定面積	13.4	ha

2. 県民協働による里山の整備・利用事業(一般)の実績及び計画(平成30年度以降)

単位:万円

活用実績・計画	R4年度	R5年度	R6年度	年度	年度	計
里山整備利用地域活動推進事業 (最長3年間:補助率10/10以内)	60	60	31.3			
里山資源利活用推進事業 (上限事業費150万円:補助率3/4以内)		1.8	6.9			

3. 「開かれた里山」における活動の基本方針

(1) 里山整備利用地域における協議会の活動状況

ふるさとの歴史と自然を学び、子供たちに伝えていく。また、身近な里山を幅広い世代が安心して親しめる「ふるさとの山」として環境を整備していくため設立された。毎月1回の下草刈りや支障木の伐採、また眺望伐採を行っている。また子供向けイベントとして夏に昆虫採集教室、冬に地域住民へ向けた活動報告及び歴史講演会などを主催している。

(2) 里山整備利用地域の特長

千曲市の中心部にあり、しなの鉄道屋代駅の裏に位置する里山で、かつて子供たちの遊び場としてにぎわっていたが、近年は薪炭林としての役割を失い、放置され、人とのつながりが希薄になっていた。また、千曲市指定史跡の屋代城であるが、その存在もあまり知られていない。

(3) 「開かれた里山」としての整備・利用の方針

ア より多くの県民等が広く親しめる「開かれた里山」づくりの考え方

歴史公園的な機能と自然公園的な機能を合わせ持つような環境整備を行う。子供から大人、市民から観光客まで誰もが立ち寄り、親しみの持てる里山としての利用促進を図る。

イ 「開かれた里山」における森林整備の方針

城跡や登山道の案内板の設置、支障木の伐採、眺望伐採。また、枯れかかっているヤマザクラの育成のための間伐や枯損木の除去。

ウ 「開かれた里山」の整備・利用に向けた里山整備利用推進協議会の活動

3年間の県民協働による里山の整備・利用事業により、協議会としても具体的に事業が実行され、里山の環境が改善された。パンフレットの配布などにより、知名度があがり、多くの人々が訪れる場所となっている。昨年はテレビ局による取材も行われた。今後も、工夫した話題作りを行い、活動を広く普及していく。

(4) 「開かれた里山」の対象とする里山整備利用地域の面積及び位置

面積 13.4 ha 位置は別添森林計画図のとおり

4. 「開かれた里山」の整備・利用の全体計画

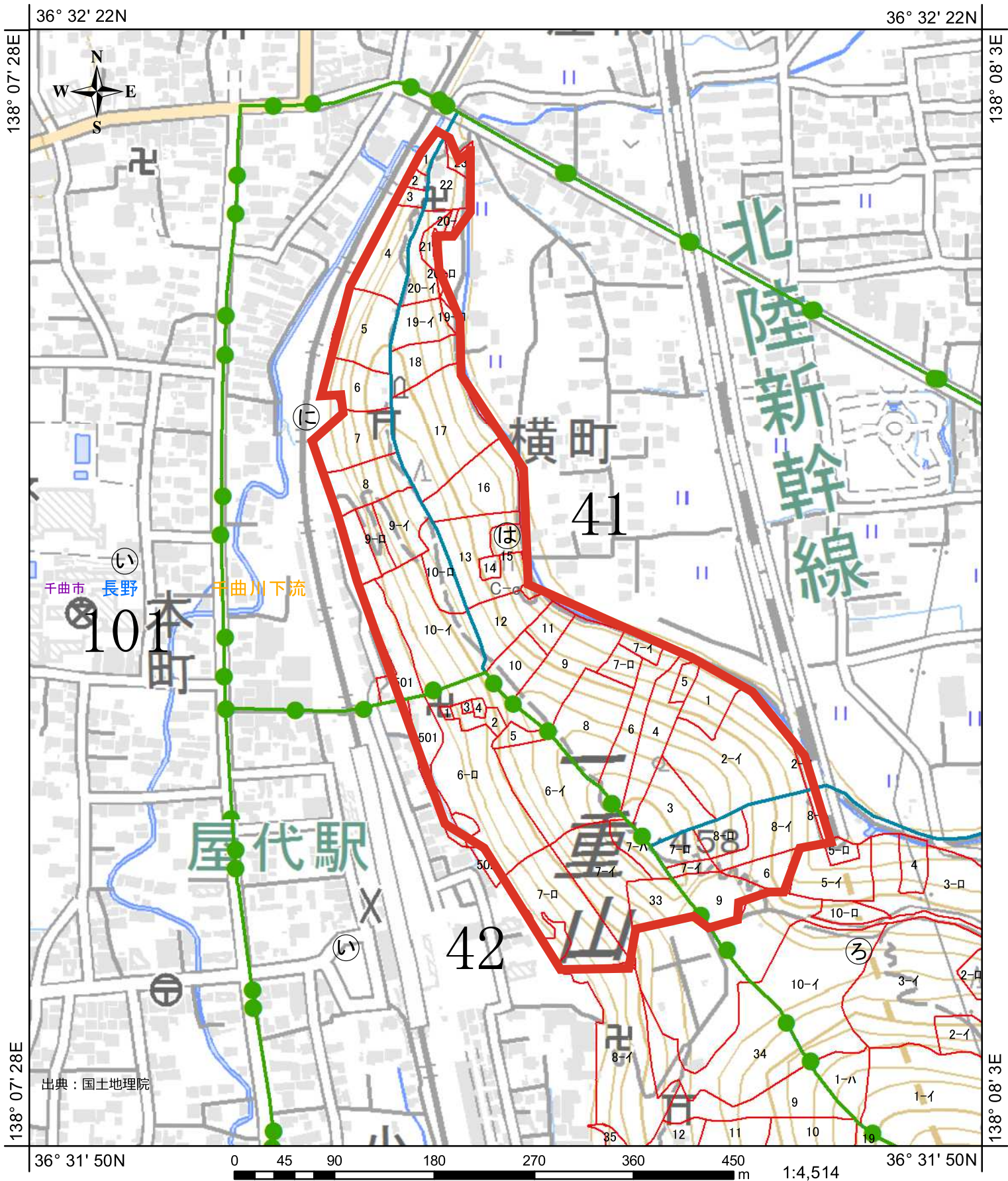
計画内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
「開かれた里山」における森林整備 計 (ha)			0.03	0.03		
(m)						
花木等の植栽 (ha)						
下刈り (ha)	0.02	0.02	0.02	0.02		
修景林間整備 (ha)						
竹林整備 (ha)						
① その他整備 (除伐等) (ha)			0.01	0.01		
② 付帯施設等整備 () (m)						
「開かれた里山」における 里山整備利用地域活動推進事業 (2年間：補助率10/10以内)			60	60		
整備計画の策定・地域の合意形成等 (万円)						
「開かれた里山」における 里山資源利活用推進事業 (上限事業費100万円：補助率3/4以内)						
資機材導入等 (万円)						

(様式2)

開かれた里山の整備・利用計画書チェックシート

里山整備利用推進協議会の名称 一重山みらい会議
住 所 千曲市桜堂521西澤書店2階
代表者 氏名 青木信知
計画書提出年月日 令和7年 1月 30日

チェック項目	確認欄
① 里山整備利用地域に認定されているか	✓
② 県民協働による里山の整備・利用事業の活用実績はあるか	✓
②-1里山整備利用地域活動推進事業の実績は正確に記載されているか	✓
②-2里山資源利活用推進事業の実績は正確に記載されているか	✓
③ 里山整備利用推進協議会は継続的な活動をしているか	✓
④ 協議会の活動状況から、無理のない計画となっているか	✓
⑤ 里山整備利用地域の特長を活かした計画となっているか	✓
⑥ 整備・利活用の計画は、具体的で、実現可能な計画か	✓
⑦ 具体的で効果的な広報活動が計画されているか	✓
⑧ 将来に向け、県民等の利活用が継続・増加する計画となっているか	✓



図郭50000

図郭50000

地域森林計画区

地域森林計画区

地域振興局

地域振興局

市町村界

市町村界

林班(マスタ)

林班(マスタ)

小班(マスタ)

小班(マスタ)

施業班ラベル(マスタ)

施業班ラベル(マスタ)

施業班(マスタ)

施業班(マスタ)

2025年02月25日

この図は「長野県森林GIS」で作成しました

屋代城散策マップ

冠着山

三峯山

イラスト
レイアウト
高木寛
東海林和代

■ 屋代駅からの周遊二時間コース

- 屋代駅
- 登山道入口1
- ③ 矢代神社
- ⑥ 屋代城主郭
- 貯水タンク
- 屋代城案内看板
- 屋代駅
- 東山神社(経由)
- 森將軍塚古墳

15分

10分

20分

10分

20分

10分

20分

10分

20分



屋代小学校
旧本館

縄文状腰曲輪

屋代駅

満照寺

有明公園

掘跡

貯水タンク

登山道入口3

堀切A

科野の里ふれあい公園

登山道入口1

須須岐水神社

〈凡例〉

曲輪(くるわ)

1~12

堀切A~J

① 鐘つき堂と一重山不動尊

山ん堂の鐘は屋代の人々の心に残る音です。明治2年に建てられました。明治18年千葉県の成田山新勝寺から本尊を頂き、鼻取り地蔵尊と合祀されました。



② 鼻取り地蔵尊

農業のお地蔵様です。日照りの夏には、一重山から麓へおろし、五十里川に放り込み雨ごいをし、たとえられます。



③ 矢代神社と従軍記念碑

屋代地区から出征し、殉じた100余名が祀られています。奥には忠魂碑もあります。



④ 御嶽神社古墳と三本柏

昭和55年まで御嶽神社があった場所には古墳があります。その上には3本並んでいる柏の木があり、ご神木として大切にされています。



⑤ 屋代城三曲輪の大土塁

二曲輪とは最大13mの高土差があります。最大の防壁(切岸)前にある土塁です。



申込
不要

一重山みらい会議総会・記念講演

一重山と千曲川

信州大学名誉教授 塚原弘昭氏

開催
日時

2025年 02月16日(日)

10:30～12:00

参加費・資料代/1000円

戌の満水

千曲川最大の大洪水とされる戌の満水の時、裏山である一重山に逃げ込んだ村民は、眼下の有様を「千曲川の水は矢代山から塩崎の西の方まであふれて、一面に水面となったところを流されていった人の数は、一万とも」と覚帳に書き残しています（鶴沢忠治著、「明治43年の洪の記録を読む」より）。特異な形で残る一重山の地質について、地元の塚原先生にお話を聞きます。

プログラム

第1部 一重山みらい会議
総会・活動報告会 9:30～

第2部 講演会 10:30～12:00

会場

千曲市市民交流センターてとて
2F 第1会議室

長野県千曲市屋代128-1

Tel:026-273-8000

講師紹介

1944（昭和19）年、千曲市（旧戸倉町）生まれ。上田高校、東北大学理学部、名古屋大学大学院理学研究科博士課程を経て、科学技術庁防災科学技術センター（現防災科学技術研究所）研究員・研究室長として勤務。平成4年より信州大学理学部教授。現在、信州大学名誉教授。なお、平成10年から、父親の跡を継ぎ、真言宗智山派明德寺（千曲市羽尾）住職

主催：一重山みらい会議・一般社団法人ちくま未来戦略研究機構

事務局：長野県千曲市桜堂521 西澤書店2階 TEL 090-5779-2920（担当：越）

令和5年度 夏休み昆虫採集教室

一重山不動尊から屋代城の山頂まで歩き、昆虫採集を行います！

里山には沢山の昆虫達が暮らしています。色々な昆虫を見つけて観察してみよう！

夏休みの自由研究にもなるよ！



期 日：7月30日(日)

時 間：9時～12時(8時30分集合)

集合場所：一重山不動尊下駐車場(鶴沢眼科第2駐車場にも停められます。)

案 内：一重山みらい会議【会長 青木 信知 氏】

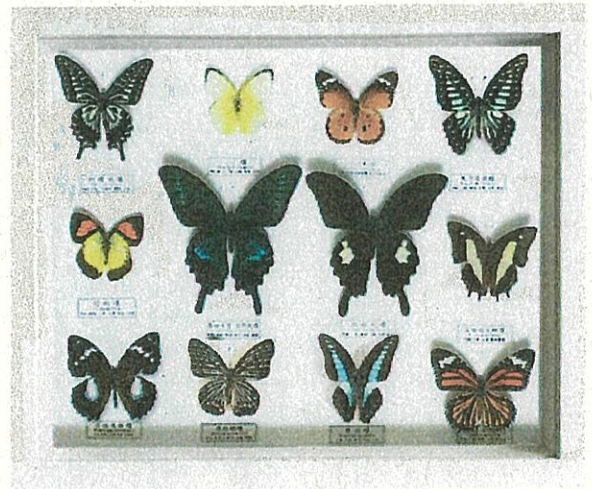
参加費：無料

定 員：20人程度(小学生対象)

持ち物：虫取り網・虫カゴ・帽子・飲み物

服 装：帽子・長袖・長ズボン・履き慣れた靴

* 希望者は午後2時から後楽館にて標本を作ります。



《問い合わせ》

・主 催：一重山みらい会議

※申し込みは不要です。当日お集まり下さい。

・問合せ先：青木信知(026-272-0546)またはカフェ「自転車屋」(026-273-5767)

・事務局：千曲市桜堂521 西沢書店2階

一重山みらい会議総会・記念講演会

屋代城と屋代一族

～徳川家康と屋代秀正の往復文書～

日時／2024年2月18日(日)

時間／開演 10:30 (受付 10:00～)

場所／千曲市市民交流センター7とて

2F第1会議室

〒387-0007 長野県千曲市屋代128-1

(TEL: 026-273-8000)

参加費・資料代／1,000円

定員50名(先着順) *申し込みは不要です。

【プログラム】

第一部 一重山みらい会議活動報告会 9:30～

<休憩>

岡学園トータルデザインアカデミー、
長野プロデュース科・学生制作お披露目
塚田ひかりさん(屋代在住)
地域おこしプロダクト「秀正饅頭」の試食会



第二部 講演会 10:30～12:30

講師紹介/井原 今朝男氏

千曲市文化財審議会会長。屋代南高校元教諭。長野県立歴史館・国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学等を経て、国立歴史民俗博物館名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授。史学博士

主催：一重山みらい会議・一般社団法人ちくま未来戦略研究機構

事務局：長野県千曲市桜堂521 西沢書店2階 問合せ先090-5779-2920 (担当) 越

令和5年度県民協働による里山の整備・利用地域活動推進事業

第2回

狼のろし 煙リ 千曲市山城 ちくまし やまじろ

10/20 日

9:00 開始 天正

荒砥城は登城路土砂崩れで
休園中です。
入場しての見学はできません。



※時間は目安です。天候や風向きで遅れることがあります。入山城は山城から少し離れた場所からのろしを上げます

主催 一重山みらい会議 / 千曲市川西地区振興連絡協議会 / 新山の歴史と自然に学ぶ会
共催 (一社)ちくま未来戦略研究機構 後援 千曲市教育委員会 / 千曲商工会議所
連絡先 屋代城 090-5779-2920 [一重山みらい会議・越] 小坂城 090-4005-5235 [川西地区振興連絡協議会・徳原]
荒砥城 026-214-2741 [千曲市歴史文化財センター] 入山城 090-9668-9410 [新山の歴史と自然に学ぶ会・鹿田]

屋代城 やしろじょう

整備団体 一重山みらい会議
令和3年度設立 会員40名

当団体は、歴史と自然を学び、子どもたちや親子が親しみ遊べる「ふるさとの山」を整備することを目的に活動しています。屋代城の主郭から六曲輪を中心に、史跡の藪払いをしたり、間伐材を使ってベンチ製作をしたり、また昆虫採集教室などを行っています。春から秋の第3日曜日の早朝が活動日です。ぜひ一緒に汗を流しませんか？



看板の設置作業

小坂城 こさかじょう

整備団体 千曲市川西地区振興連絡協議会里山整備部会
令和3年度設立 会員52名

康正年間（1455～1457）に桑原氏により築城された山城。登山口にある龍洞院は1504年建立の曹洞宗のお寺です。参道の「龍洞院架道橋」はJR篠ノ井線に通路を通すため造られたレンガ造りのトンネルで、国登録有形文化財となっています。秋を彩る紅葉の趣は訪ねる方を癒します。大本山永平寺 貫首 南澤道人禅師は龍洞院の先代住職です。

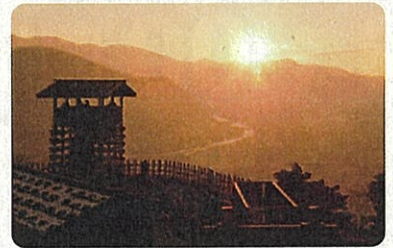


地藏様が迎える山門

荒砥城 あらとじょう

整備団体 千曲市城山史跡公園
見学路土砂崩れで休園中

村上氏の一族にあたる山田氏により、大永4年（1524）に築城されたと伝わる。平成2年、遊園地跡にふるさと創生事業として山城を再現する構想が、旧上山田町で計画された。築造当時の姿に再現され、平成7年、城山史跡公園としてオープンしました。



荒砥城跡から見る日の出

入山城 いりやまじょう

整備団体 新山の歴史と自然に学ぶ会
令和2年度設立 会員16名

上山田小学校から西の方向に突き出る尾根に入山城があります。子どもの頃遊んだ山はいつの間にか忘れ去られていました。地元の財産を復興したい、と有志が集まりました。誰でも登れるよう階段を新設。今では地元の保育園児や小学生が登っていて、元旦のご来光も開催しています。



巨大な塀堀

第2回 千曲市山城 狼煙リレー

千曲市は川中島の戦いの舞台となった地域です。山の上には多くの山城が残されています。そのうち4つの山城で当時の伝達手段であった「ノロシ」あげを行います。歴史ロマンを一緒に体験しませんか。

